

参考資料1 置き砂土砂の調達方法について

過去の流域内の河床材料調査結果より、相模川流域内で、海浜を形成する土砂としてふさわしい土砂の成分（0.2～1mm）を多く含む地点は、相模ダムの浚渫土砂が有力であることがわかった。これより、置き砂の調達地点としては、相模ダムの浚渫土砂が有力であると考えられる。

表 1 置き砂候補土砂の採取地点

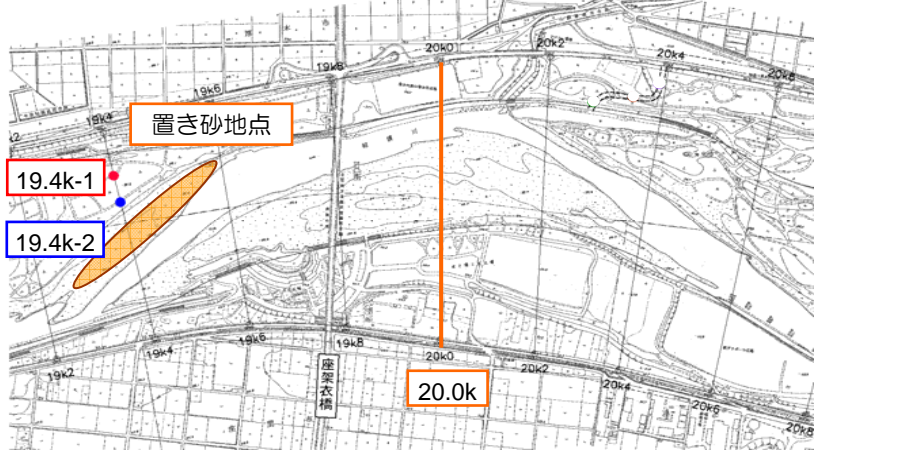
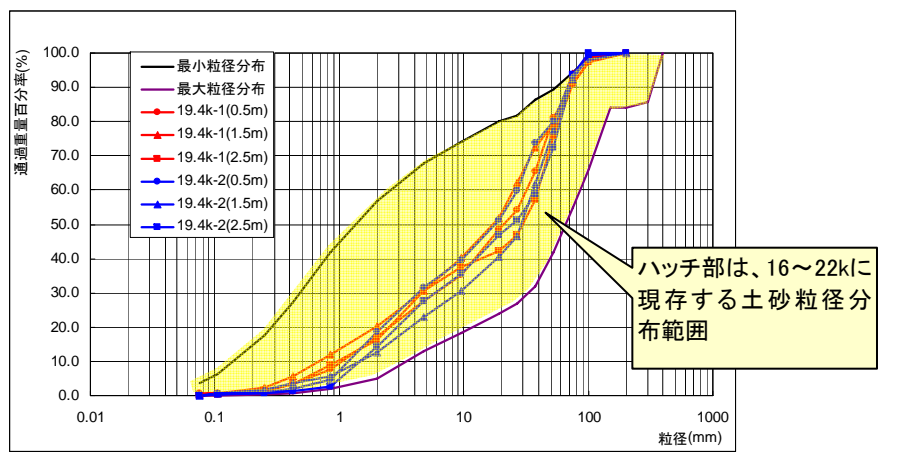
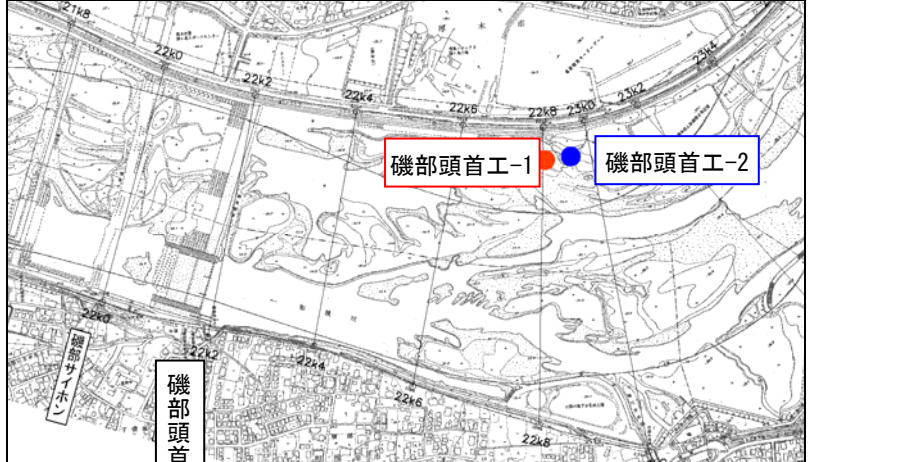
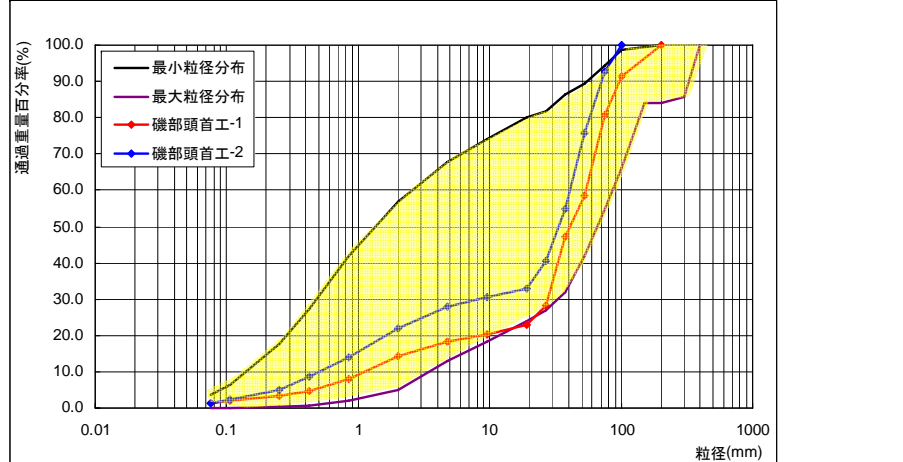

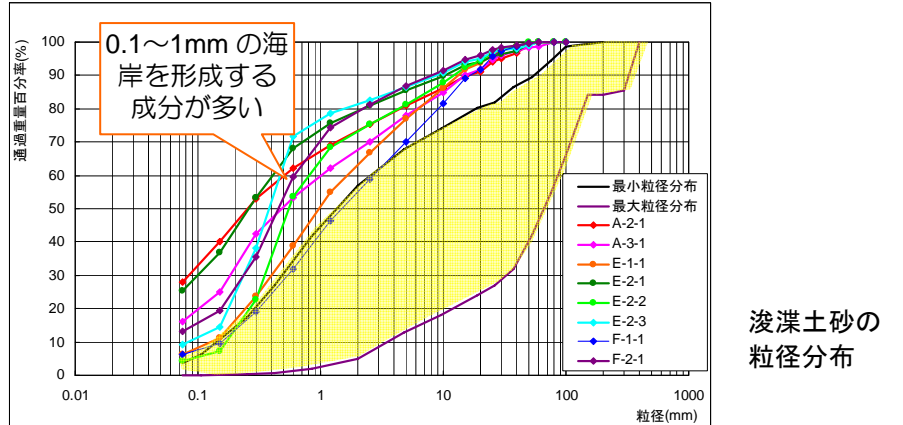
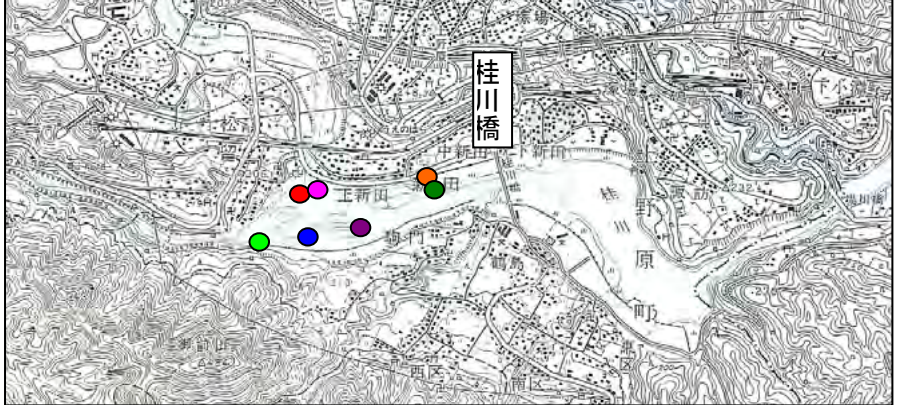
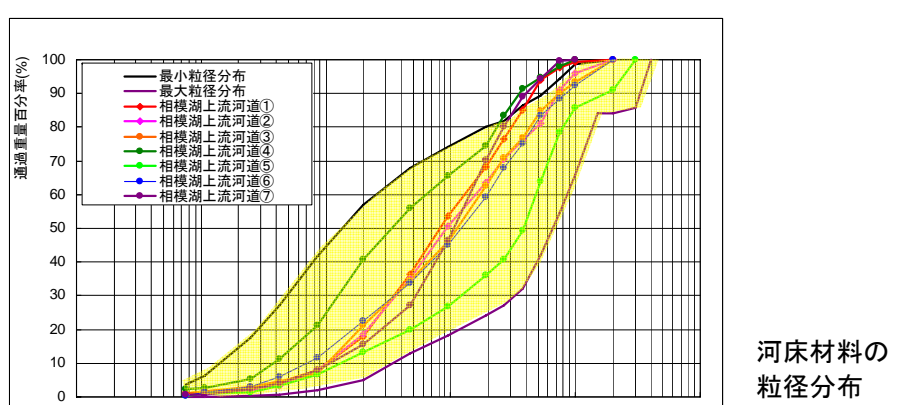
	採取地点	土砂の概要	備考
①	相模川 19.4k 右岸 高水敷	平成 18 年度、19 年度 置き砂試験施工地点の 高水敷の土砂	平成 18 年度および平成 19 年度に置き砂土砂として 利用
②	相模川 23.0k 右岸 磯部頭首工堆積土砂	磯部頭首工湛水域上流 端の堆積土砂	過去 2 年度の置き砂土砂の粒度分布に対して若干粗め であり、海浜を構成する土砂成分は多くない。
③	相模湖浚渫土砂	相模湖湛水域の浚渫土 砂	過去 2 年度の置き砂土砂より細粒分が多く、海浜を形 成する土砂（0.1～1mm）の成分が多い。
④	相模湖上流区間土砂	相模湖湛水域上流部の 山梨県管理区間の土砂	過去 2 年度の置き砂土砂と程度の粒度分布である。

※ D 地点とは、右上図に示す置き砂試験施工設置に当たり、当初検討されていた候補地点の 1 つで平成 18 年度から試験施工が行われている地点である。



図 1 置き砂候補土砂の採取地点

表 2：平成 20 年度置き砂土砂調達候補一覧

	採取地点	採取地点平面図	粒度分布	備考
①	相模川 19.4k 右岸高水敷			平成 18 年度の置き砂および平成 19 年度の置き砂の一部に利用した土砂
②	相模川 23.0k 右岸 磯部頭首工 堆積土砂			平成 18 年度及び平成 19 年度の置き砂土砂の粒度分布に対して若干粗めであり、海浜を構成する土砂成分は多くない。
③	相模湖 浚渫土砂			平成 18 年度及び平成 19 年度の置き砂土砂より細粒分が多く、海浜を形成する土砂 (0.2~1mm) の成分が多い。
④	相模湖上流 区間河道内 土砂			過去 2 年度の置き砂土砂と程度の粒度分布である。 →海浜に必要な 0.2~1mm 成分はさほど多くない